

## 07

## つちはおそう

## -ねんどこうさくからさいがいをしろう-

徳島大学工学部建設工学科 上野 勝利

ねんど<sup>こうさく</sup>工作をつうじて土<sup>つち</sup>のせいしつとさいがいのしくみをたいけんしよう。

## 1. はじめに

去年<sup>きよねん</sup>はたくさんの台風<sup>たいふう</sup>がやってきて、徳島県<sup>とくしまけん</sup>をはじめ日本<sup>にほん</sup>全国<sup>ぜんこく</sup>で多く<sup>おほ</sup>の方がひがいにあわれました。大雨<sup>おほあめ</sup>によって弱め<sup>よわ</sup>られた土<sup>つち</sup>が家<sup>いえ</sup>や町<sup>まち</sup>をおそったのです。今年<sup>ことし</sup>も夏<sup>なつ</sup>とともに、そんな台風<sup>たいふう</sup>の季節<sup>きせつ</sup>がやってきました。しかし家<sup>いえ</sup>のまわりにきけん<sup>はんぶん</sup>なところ<sup>いじょう</sup>があっても、半分以上<sup>ひと</sup>の人は気がついていません。



## 2. 身の回りにひそむきけんかしよ

土<sup>つち</sup>がおそうきけんのあるところは、徳島県内<sup>とくしまけんない</sup>に 15,836 力所<sup>かしよ</sup>あります。およそ人口<sup>じんこう</sup> 50 人あたりに 1 力所<sup>かしよ</sup>のわりあいできけんなところがあります。学校<sup>がっこう</sup>や家<sup>いえ</sup>の近く<sup>ちか</sup>の沢<sup>さわ</sup>や山<sup>やま</sup>にも、実はきけんな所<sup>ところ</sup>がひっそりとかくれているのです。

注意<sup>ちゅうい</sup>深くかんさつすると、きけんなしるしがみつかります。家<sup>いえ</sup>や学校<sup>がっこう</sup>のちかく、通学路<sup>つうがくろ</sup>に つぎのようなかんばんがありませんか。大雨<sup>おほあめ</sup>がふったらこのようなばしょに注意<sup>ちゅうい</sup>しましょう。



どせきりゅう きけん  
土石流の危険  
けんない かしよ  
(県内 2,244 箇所)



危険な急斜面  
けんない かしよ  
(県内 13,001 箇所)



じ すべり きけん  
地すべりの危険  
けんない かしよ  
(県内 591 箇所)

## 3. ねんど工作をたいけんしよう。

土<sup>つち</sup>の中<sup>なか</sup>にはかたい土<sup>つち</sup>のつぶだけでなく、水<sup>みず</sup>とくうきがふくまれています。そのわりあいが土<sup>つち</sup>の強<sup>つよ</sup>さに関係<sup>かんけい</sup>しています。そのような土<sup>つち</sup>のせいしつをむつかしい言葉<sup>ことば</sup>でコンシステンシーといひます。ねんどをつかった工作<sup>こうさく</sup>をつうじて、水<sup>みず</sup>の量<sup>りょう</sup>がふえると、土<sup>つち</sup>の強<sup>つよ</sup>さがどのようにへんかするの、たいけんしましょう。

参考 URL <http://kiso.ce.tokushima-u.ac.jp/~ueno/taiken.html>